

学校便り  
9月号



# あしら

創立147周年  
米作り  
進込み漁  
特認校

芦花部校ブログ



携帯QRコード

奄美市立芦花部小中学校

～芦花部・有良～

令和7年9月25日(木)

## 自ら学ぶ

校長 有川 直美

本校の校訓は「自ら学ぶ」です。全校朝会で、児童生徒に「何を学ぶの？」と問うと、「算数」など勉強を学ぶという言葉が返ってきました。校訓で学ぶ内容は「進んであいさつ」「進んで仕事」「自ら体と頭を鍛える」となっています。

皆さん、考えたことがありますか。中学校を卒業すると、ほとんどの生徒が高等学校を含む上級学校に進みます。でも、本当は「働く」ことができる年齢、つまり、社会に出ることができる年齢になります。社会に出て必要なことは、勉強はもちろんですが、あいさつ、時間を守る、言葉遣いなどたくさんあります。それらのことをこの小中学校9年間で身に付けておく(学ぶ)ことが大事だということが、芦花部校の校訓に込められています。私は「体を鍛える」と同時に「心」も鍛えてほしいと考えています。楽しい心、嬉しい心、優しい心、悲しい心、悔しい心、様々な心を経験してください。そして、負けない心、たくましい心も身に付けて社会に巣立ってほしいものです。応援しています。



## みんなで育んだ稲穂、実りの秋を迎える

実りの秋を迎え、先日、学校の田んぼで育てていた稲の刈り取りと脱穀を行いました。

春から大切に育ててきた稲穂が黄金色に輝き、子供たちは「こんなに大きくなったんだね!」と目を輝かせていました。当日は、保護者や地域の皆様が多数お手伝いに駆けつけてくださり、子供たちと一緒に作業を手伝っていただきました。

刈り取った稲は、後日、足踏み脱穀機を使って脱穀しました。最初は力の加減が分からず戸惑っていた子供たちでしたが、足踏み脱穀機の軽快な音とともに次々と稲穂から外れていくお米に、大きな歓声が上がりました。稲刈りも脱穀も、時間と手間のかかる大変な作業です。しかし、この過程を通して、みんなで協力し、力を合わせることの大切さを改めて実感することができました。



今回の稲作体験で、子供たちは、お米ができるまでの大変さや食べ物大切さを学びました。そして何よりも、地域の方々や保護者の皆様の温かいご支援があってこそ、このような貴重な体験ができることを改めて実感しています。ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

自分たちで育て、収穫したお米(もち米)は、10月にある「もちつき大会」で使用する予定です。その味は、きっと格別なことでしょう。

## 給食でも、新米が提供されています！

奄美市の学校給食では、9月から新米が提供されています。この他にも、旬の食材を取り入れた献立が並び、子供たちは食欲旺盛です。先日は、給食センターから、栄養教諭の先生が来校され、子供たちが給食を食べる姿を参観していただきました。

食は、私たちの体だけでなく、心も豊かにしてくれます。ご家庭でも、ぜひお子様と一緒に旬の食材について話したり、料理を作ったりしてみてください。

好き嫌いをなくし、バランスの取れた食事を心がけることで、健康な体と豊かな心を育んでいきましょう。



## 10月の主な行事

- 1日(水) 複式5校合同修学旅行(小、～2日)
- 3日(金) 休養措置日(小5・6)
- 7日(火) 身体計測
- 9日(木) 中間テスト(中、～10日)
- 13日(月) 祝日スポーツの日
- 17日(金) 校内弁論大会(中)
- 21日(火) 児童生徒会役員改選・立会演説会・選挙
- 29日(水) もちつき大会・学校保健委員会
- 30日(木) 市小学校陸上記録会(小5・6)
- 31日(金) 実力テスト(中3)  
社会科見学(小3・4)